

2013.3.21
埼玉新聞

リトルシニア全国選抜大会

①出場チーム紹介① 上

第19回日本リトルシニア野球全国選抜大会（日本リトルシニア中学硬式野球協会主催）が25日、京セラドーム大阪で開幕。昨秋の各連盟大会を勝ち上がった48チームが出場し、春のリトルシニア日本一を争う。
関東連盟北関東支部（埼玉、栃木、群馬）からは、2年ぶり5度目の加須、初の狭山、7年ぶり2度目の越谷、2年連続5度目の栃木下野が出場。同支部代表の4チームを2回に分けて紹介する。（丹羽良平、成川謙）



守備を固め終盤勝機 狭山



初出場の挑戦

昨秋の関東大会で16強入りを果たし、設立11年目で初めて全国選抜大会に挑む。二戦一戦全力で戦い、疲労感と達成感を味わえる機会と吉田昭彦監督は、各地の強豪が集つ舞台で狭山ナインの奮闘を願つ。身上は守り。関東大会出場を懸けた昨秋の支部大会準々決勝で斎藤大雅が久喜を完封。関東大会の2回戦

狭山

では斎藤、三浦良太の継投で東練馬を2点に抑えて勝利し選抜大会出場に大きく前進した。ほかにも増島綾人や急成長の小暮昇太ら6人に登板の可能性。多彩な投手陣を1年次からマスクをかぶり経験豊富な主将の昔農和磨がリードする。バックも堅い。練習で併殺の百本ノックに取り組みことで、ピンチで慌てない精神と、声を掛け合つて生まれる連帯感を磨いてきた。今では走者が詰

まると「併殺を狙い」薬して仕方ない」といつ空気が生まれるほどだ。守備で足場を固め、終盤の攻防から勝機を見いだしたい。

秋の関東大会3回戦で敗れたが、後に準優勝する千葉西相手に7-8の大接戦を演じた。この試合では先発メンバに加え、岸本龍征や長谷川大地が代打として結果を出し、一丸となった戦いを印象付けた。誰が出ても遜色ないプレーができる」とは強みだ。

仲間のプレーをたたえ、それを超えようとする切暁琢磨（せつたけ）が躍進の原動力。横浜商高の外野手として甲子園出場の経験がある吉田監督のモットーは「野球は楽しむ」「感動を与えられる試合をする」。狭山ナインが全国の舞台でその姿を体現する。

▽会長 諸口高男▽副会長 宮島修▽事務局長 須田昌司▽練習場所 狭山リトルシニア専用グラウンド（狭山市下奥運動公園内）▽監督 吉田昭彦▽コーチ 須田裕樹、安藤雅広（メンバ）

①斎藤大雅（投手・狭山）
②三浦良太（投手・狭山）
③小暮昇太（内野手・狭山）
④濱田祐太（内野手・狭山）
⑤中野中（内野手・狭山）
⑥増田光紀（内野手・狭山）
⑦長谷川大地（外野手・所沢小）
⑧三浦良太（投手・狭山）
⑨中野中（外野手・入間黒須中）
⑩増島綾人（投手・所沢中）
⑪新井智也（外野手・狭山）
⑫松元良太（内野手・狭山）
⑬鈴木大也（内野手・所沢小）
⑭茂中俊輔（内野手・狭山）
⑮佐藤大二郎（内野手・埼玉平成中）
⑯高戸廉（外野手・狭山）
⑰野本恭成（内野手・狭山）
⑱横山由樹（投手・狭山）
⑲黒米隆哉（内野手・狭山）
⑳黒木村亮（内野手・所沢北野中）
㉑岸本龍征（内野手・所沢小）
㉒三上翔吾（外野手・狭山）
㉓粕谷昂（投手・狭山）
㉔雨宮颯吾（投手・狭山）
㉕半波優斗（内野手・川越高階中）

予選大会の成績
【北関東支部秋季大会】
▽1回戦 狭山 7-0 太田市（五回コールド）
▽2回戦 狭山 12-5 春日部
▽3回戦 狭山 6-5 前橋
▽準決勝 狭山 3-0 久喜
▽進出決勝 栃木下野 4-3 狭山
【関東連盟春季大会】
▽1回戦 狭山 3-2 東練馬
▽2回戦 千葉西 8-7 狭山（延長8回）

初優勝目指す
狭山・昔農和磨主将の話
初出場として、まずは1回戦突破を目標に初出場初優勝を目指します。また、関西にも（大阪）狭山ニアがあるの、関東の狭山が強いと知ってほしいです。

モットー達成を
狭山・吉田昭彦監督の話
チーム一丸となり、練習してきたことを出し切りたい。一丸く野球をする。感動を与えられる試合をする。チームモットーを達成する。

シャトレーズ210小島（S・G・A）、山北（鶴ヶ島Angelo 1s）210富城（S・G・A、和田（大宮ライオース）210小

北区のプラザノースで団員、指導者、父母ら約90人が参加して行われ、卒団生が8人を祝った。

常によかった。子どもたちも自信がなると思う。これ

定戦 福井210

ヤレンジャー、本田（廣谷ウイングス）210加藤（三郷タックス）

▽同組準決勝 佐藤210小

あいきつ。卒団生を代表して主将の安藤佳希が「今年

の僕たち以上の勝つという気持ちと結果、つまり真大